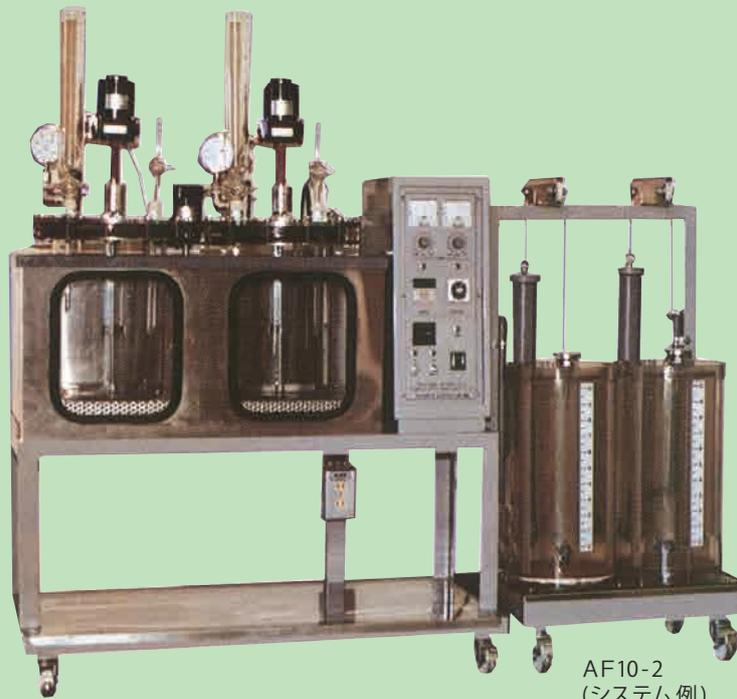


嫌気性汚泥消化テスト装置



AF10-2
(システム例)
※ガラス製覗き窓はオプションとなります。

嫌気性消化法は、下水汚泥の処理法として古くから知られ、溶解した有機物だけでなく大きな浮遊物も、酸生成菌により分解されます。生成した低級脂肪酸は、メタン生成菌によりメタンガス、炭酸ガス、アンモニア等のガス類と少量の消化スラッジになります。

消化法としては温度により中温消化と高温消化に分けられます。生成するメタンガスは燃料として省エネルギーに役立ちます。本法は高濃度有機物を稀釈せずに処理できる有力な水処理の一つです。

仕 様

— 共 通 仕 様 —

■消化槽

耐熱透明塩ビ製消化槽、試料注入管、消化液抜取管、ガス抜取管、デジタル温度計、攪拌装置一式

■恒温槽

ステンレス鋼板製、攪拌装置、温度自動調節器、過昇温度防止器

■ガス槽

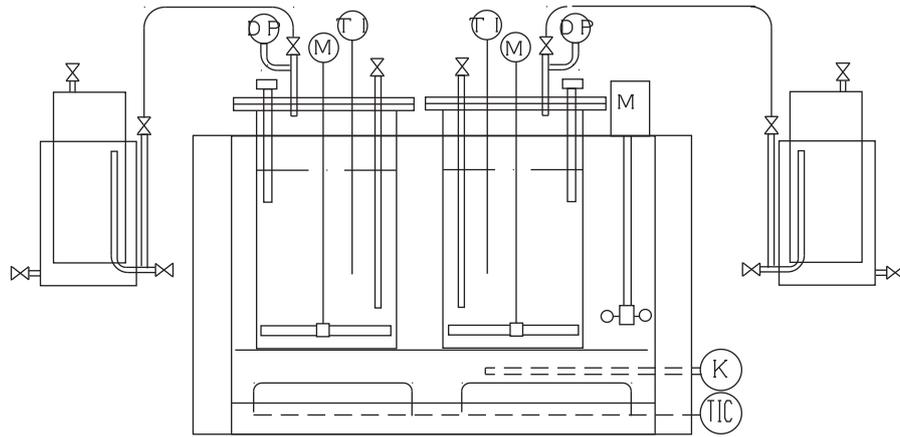
透明塩ビ製、ガス導入用バルブ付、排水バルブ付、バランス付

■計 装

漏電ブレーカー、液温自動調節計、消化槽攪拌器用回転計及び回転数調節器

型 式	消 化 槽		ガス槽	消 化 槽 温 度 ^{※1}	電 源
	(ℓ)	数 量			
AF5-2	5	2	5×2	室温+5℃～55℃	AC 100V 50/60Hz 15A
AF10-2	10	2	10×2	室温+5℃～55℃	AC 100V 50/60Hz 20A
AF20-1	20	1	20×1	室温+5℃～55℃	AC 200V 50/60Hz 20A
AF20-2	20	2	20×2	室温+5℃～55℃	AC 200V 50/60Hz 30A

※1) 消化槽温度条件は、室温20℃の場合です。



仕 機

■硝化槽

耐熱透明PVC円筒槽(ステンレス上蓋)
 試料投入管 ガス取り出し管
 デジタル圧力計 デジタル温度指示計
 試料取り出し管(バルブ付) 攪拌装置一式

■恒温水槽

ステンレス製水槽 水槽攪拌器 温度指示調節計
 パイプヒーター 棚板 ガラス窓(オプション仕様)

*オプション

a: pH指示計 b: ORP指示計 c: 記録計 (圧力、試験槽温度、水槽温度、pH、ORP)
 d: 可溶可槽(前処理用)

■計 装

漏電遮断器(漏電保護、短絡保護)
 水槽温度指示調節計 試験槽温度指示計
 試験槽攪拌速度調節器 デジタル回転計
 スイッチ、ランプ(水槽加熱、水槽攪拌、試験攪拌×2)

■ガスタンク

透明PVC製二重槽ガス入口(バルブ付、排水バルブ2個)
 ガラス温度計、浮上タンク用平衡錘

実 験 法

■成分分析

試料原水を分析し有機物濃度、pH、BOD等を記録します。

■培 養

下水処理場、工場等の施設から消化スラッジ濃度の高い消化液を調達します、或いは川や沼底泥を試験槽に入れます。
 中温と恒温では最近の種類が異なるので、ご注意ください。
 少量試料の添加、ガスの発生が安定すれば、種培養は終了です。

*弊社では常に品質改善に努めています。
 製品の形状、仕様がカタログ記載事項と異なる場合があります、図面をご請求願います。

■試 験

定期的に試料を供給し、同量の消化液を抜き取ります。
 発生したガスは、消化槽から押し出されガスタンクに入ります。
 処理能力は有機物濃度2~3g/L/日(中温発酵)
 ガス生成量は有機物1gあたり300~500m³/日

■効 果

試料水 消化液 pH値 BOD 生成ガス量
 メタンガス アンモニアガス 炭酸ガス

Daido 株式会社 大同工業所

Web ■ <http://www.daido-ind.co.jp>

■大 阪 / 〒577-0006 大阪府東大阪市楠根1丁目6番45号
 TEL 03-6715-8232 FAX 03-6715-8238

■東 京 / 〒144-0045 東京都大田区南六郷2丁目20番11号
 TEL 03-6715-8232 FAX 03-6715-8238

■代理店